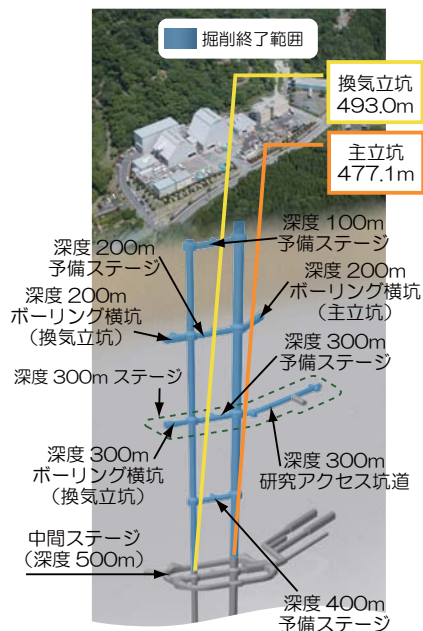


スポット  
ニュース

## 平成22年度の研究等の進捗状況

瑞浪超深地層研究所では、地下深いところが「どうなっているのか」「なぜそうなったのか」「将来どうなっていくのか」を知るための手法を確立する「地層科学研究」を行っています。

平成22年度は、断層や割れ目、地下水の水質や水圧を調査するために、深度300m研究アクセス坑道や深度400mの予備ステージにおいてボーリング孔を掘削し、観測装置を設置するなど調査研究を行いました。立坑の掘削については、主立坑が深度459.6mから深度477.1mまで、換気立坑が深度459.8mから深度493.0m（3月23日現在）まで進んでいます。



主立坑 (深度467.1m)



換気立坑 (深度490.4m)

**立坑の掘削深度 (3月23日現在) 主立坑 477.1m 換気立坑 493.0m**

### 《地層研ニュース等に関する連絡先》

地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記へご連絡ください。

【電話】0572-66-2244(代表) 【FAX】0572-66-2124 【E-Mail】tono-ck@jaea.go.jp

《東濃地科学センターHP : <http://www.jaea.go.jp/O4/tono/index.htm>》

東濃地科学センター 地域交流課 (戸祭, 飯島, 牧田, 福島)



## 東濃地科学センターセミナーを開催しました!

今月号は、「2月に開催しましたセミナー」について紹介いたします。

平成23年2月27日に、瑞浪市地域交流センター「ときわ」において、第25回東濃地科学センターセミナーを開催しました。

本セミナーでは、当センターの事業概況を説明させていただいた後、昨年10月に名古屋市で開催された第10回生物多様性条約締約国会議(COP10)の支援実行委員会アドバイザーである、名古屋市立大学大学院准教授の香坂玲先生により、「生物多様性と環境～COP10の課題と今後の展開～」と題しご講演をいただきました。講演では、「日本は環境とエネルギーの分野で世界から期待されている。生物多様性保全についても、政治だけではなく、経済業界も巻き込んだ形で取り組むべき」などのお話がありました。

当日、ご来場いただきました皆さま、誠にありがとうございました。

当日、ご来場いただきました皆さま、誠にありがとうございました。



【第25回東濃地科学センターセミナー】



## 来月の主な作業予定 (4月)

### 【瑞浪超深地層研究所】

- ①主立坑と換気立坑の掘削工事
  - ②深度300m研究アクセス坑道における断層や割れ目を対象としたボーリング孔を用いた水圧観測
  - ③深度200mボーリング横坑のボーリング孔(2孔)及び深度300mボーリング横坑のボーリング孔(3孔)を用いた立坑近傍の水圧の長期観測
  - ④深度200m,300m,400m予備ステージのボーリング孔を用いた水質等の長期観測
  - ⑤地表からのボーリング孔(MSB-1,2,3,4号孔、MZ-1号孔、05ME06号孔)での水圧等の長期観測
  - ⑥表層水理観測/ 気象観測(雨量、湿度、気温等)  
地下水の水圧の変化を推定するための地表のわずかな傾きの観測等)
  - ⑦深度300m研究アクセス坑道における岩盤中の物質の移動に関するボーリング孔(2孔)を用いた水圧観測(電力中央研究所との共同研究)
  - ⑧深度300m研究アクセス坑道のボーリング孔を用いた地下水水圧・水質観測(産業技術総合研究所との共同研究)
  - ⑨東濃地震科学研究所との研究協力に伴う岩盤の傾斜の長期観測
  - ⑩排水処理設備におけるふっ素、ほう素の除去後の排水
  - ⑪狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
  - ⑫研究坑道の排水等に伴う環境管理測定
- 【正馬様用地】
- ①既存のボーリング孔での水圧等の長期観測

# 「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」第2条に基づく排水水等の測定結果 (平成23年2月分)

【採取日：平成23年2月3日】  
 (排水水、河川水、湧水、主立坑掘削土、換気立坑掘削土)

単位：mg/l (水素イオン濃度はpH)

【測定期間：12月15日～3月末日】

測定項目	管理目標値	工事排水水	狭間川下流	※1 立坑の湧水	※2 狭間川上流	※3 掘削土の 溶出量(主立坑)	※4 掘削土の 溶出量(換気立坑)
水素イオン濃度	6.5～8.5	7.0	7.3	9.2	7.1		
浮遊物質量	25以下	1未満	2		1未満		
カドミウム	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
全シアン	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有機燐化合物	検出されないこと	検出されず					
有機燐	検出されないこと					検出されず	検出されず
鉛	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
六価クロム	0.05以下	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満
砒素	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
総水銀	0.0005以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
アルキル水銀	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
PCB	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
トリクロロフル	0.03以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
テトラクロロフル	0.01以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
四塩化炭素	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
ジクロロメチ	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
1,2-ジクロロエ	0.004以下	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満
1,1,1-トリクロロエ	1以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
1,1,2-トリクロロエ	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
1,1-ジクロロフル	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
1,2-ジクロロフル	0.04以下	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
1,3-ジクロロフル	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
チウラム	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
シマジン	0.003以下	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
チオベンカルブ	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
ベンゼン	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
セレン	0.01以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	10以下	0.64	0.39	0.24	0.16		
ふっ素	0.8以下	0.2	0.1	9.1	0.1未満	0.5	0.2
ほう素	1以下	0.35	0.21	1.3	0.02未満	0.26	0.17
塩化物イオン	—			190			
アミン、アミン化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	—	0.64					

※1 立坑の湧水の値は排水処理によりふっ素・ほう素を除去する前の湧水の値です。排水処理後、狭間川へ排水します。  
 ※2 狭間川上流は排水処理の対象となりませんが、湧水は排水処理プラントの運転の参考、河川上流は河川状態の把握等のため測定しています。  
 ※3 掘削土とは水の中に溶け出した物質の量のことです。  
 ※4 掘削土とは水の中に溶け出した物質の量のことです。

花木の森散策路 における空間放 射線線量率	参考値	測定結果
	測定中 周辺地域の空間放射線線 量率と同等 ※5	測定中 3ヶ月の集積空間放射 線線量 ※6から算出

※5.6 空間放射線線量率とは一定時間(一時間当たり)の空間の放射線の量のことです。  
 3ヶ月の集積空間放射線線量とは3ヶ月間にわたって測定された空間放射線線量の集積量のことです。

【掘削区間程度毎の掘削土溶出試験結果(主立坑)】 (単位：mg/l)

項目 (参考値)	ふっ素 (0.8以下)	ほう素 (1以下)	砒素 (0.01以下)	鉛 (0.01以下)	総水銀 (0.0005以下)
掘削区間 462.1m～ 464.6m	0.1	0.07	0.005未満	0.005未満	0.0005未満

【掘削区間程度毎の掘削土溶出試験結果(換気立坑)】 (単位：mg/l)

項目 (参考値)	ふっ素 (0.8以下)	ほう素 (1以下)	砒素 (0.01以下)	鉛 (0.01以下)	総水銀 (0.0005以下)
掘削区間 465.0m～ 472.6m	0.1～0.4	0.02未満 ～0.03	0.005未満	0.005未満	0.0005未満

## 排水水等の塩化物イオン濃度の測定結果(2月)

測定項目	狭間川上流	立坑の湧水	工事排水水	明世小前取水口
塩化物イオン濃度 (単位：mg/l)	1.5～3.8	160～260	180～250	6.7～81

※ 明世小前取水口における月平均の濃度が 300mg/l を超える、又はその恐れがある場合は、直ちに耕作者の方々にお知らせし、これが長期間に及びと予想される場合は、500mg/l を超える前までに必要な対策を講じます。

訂正：前回発行の2011/2月号(vol.107)において、「来月の主な作業予定」の記事のタイトルに誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

誤：来月の主な作業予定(2月) → 正：来月の主な作業予定(3月)

注意：□は※4参考値